

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	診療情報管理・分析分野
学籍番号		院生氏名	坂本幸平
通学キャンパス			
論文題目	DPC 対象病院における心不全患者の在院日数に影響を与える要因に関する研究		
審査結果 (枠で囲む)	合格		不合格
<p><審査結果の要旨></p> <p>1. 主論文の概要</p> <p>本研究は、5カ所の DPC 対象病院のデータを解析し、心不全患者の在院日数に影響を与える要因を明らかにすることを目的とした。5 病院 263 人分の入院患者データを対象とした重回帰分析の結果、病理・検査、その他、入院料の診療報酬点数、術前日数、麻酔、収縮期血圧、心拍数、施設の違いの 8 つの要因が心不全患者の在院日数に影響を与えていることが明らかとなった。分析結果の検証のため、心拍数を 2 群 (I: 100 回/分以下, II: 100 回/分超) に分け、在院日数と 1 日当たりの診療報酬点数を比較したところ I 群より II 群のほうが在院日数が長く、1 日当たり診療報酬点数が高いことが有意差をもって認められた。これらより、診断群分類決定のための心拍数を重症度の指標に活用することで、心不全の診断群分類樹形図の分岐の精緻化が図れることが示唆された。心拍数 100 回/分超の II 群が診療報酬点数が高く、在院日数が長い理由としては、心拍数のレートコントロールにより多くの治療薬等の資源投入と入院日数を要することが推察された。</p> <p>本論の新規性は心拍数が心不全の重症度指標として活用できることを示唆した点である。</p> <p>2. 審査経過</p> <p>審査会は対面による審査会 1 回とメールによる審査会を 1 回開催した。審査会では、心房細動と心拍数 100 回/分以上の関係、および心拍数が在院日数や診療報酬点数に影響を与える臨床的背景について質問がなされ、論文の修正を求めたところ適切に修正された。</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士 (保健医療学) の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	<p>主 査 武藤 正樹</p> <p>副 査 丸木 一成</p> <p>副 査 遠藤 豊</p>		